

令和4年度 学校運営に関するアンケート（評価）
 《学校教育目標》 健康で豊かな心を持ち、自ら学び続ける平岡っ子の育成
 ～子供たちの未来を見据えた、自立して生きる力につながる教育の実践～
 《基本方針》 「知」「徳」「体」のバランスのとれた子供の育成をめざす
 《重点実践目標》 ◎自分からあいさつをしましょう ◎考えを言葉で伝えましょう

達成状況について アンケートのAとBを足した数を表記
 (Aあてはまる Bだいたいあてはまる Cどちらかというあてはまらない Dあてはまらない)
 評価について
 A・・・85%以上、B・・・84～60%、C・・・59～30、D・・・29以下 として評価

《めざす児童像》 ○よく考える子 ○助け合う子 ○たくましい子 ○やりぬく子

	重点目標	質問項目（児童・保護者アンケート）	達成状況	成果と改善の方策	総合	外部評価
○よく考える子	<ul style="list-style-type: none"> 協同的探究学習の推進 国語科を中心とした研究推進 新学習システムの効果的な活用 基本的な生活習慣の確立 	保 読み書き計算などの基礎学力は定着していますか。	A 93	○教師の指導力向上を図る職員研修、教材研究が充実したことにより、児童がわかりやすい授業展開ができた。 ○読書活動の充実のために、図書室の環境整備に注力した。朝学習の時間を活用したり、多様な分野の本に親しめる活動を工夫したりしたい。家庭と連携した取り組みを模索する。 ○考えを発表する力はついてきている。今後もICTを活用しながら国語科を中心に協同的探究学習の研究を継続していく。 ○ICTの授業での効果的な活用について研修を推進する。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学習の様子を参観したが、どの学級も落ち着いており、先生の指示や指導をよく理解しているようであった。 家庭での読書や学習の仕方については、子供と親との意識に違いがあるように見えるが、捉え方は個人差が大きいと考えられる。親子で読書の時間を作るなどの工夫ができるとよい。 宿題に自主的に取り組めるよう、指導していく必要がある。 ICTの活用が推進されている。
		児 本を読むのは好きですか。	B 80			
		保 家庭での子どもの読書習慣は身につけていますか。	C 50			
		児 家で、計画を立てて勉強していますか。	B 74			
		保 子どもは、進んで学習していますか。	C 67			
		児 学校ですすんで勉強できていますか。	A 90			
		保 子どもは、学校の授業はよくわかっていますか。	A 89			
		児 授業はわかりやすいですか。	A 94			
		保 学校のICT教育は推進されていますか。	B 84			
児 クロームブックを使った学習は役に立っていますか。	A 97					
○助け合う子	<ul style="list-style-type: none"> 道徳科学習の充実 生徒指導の充実 異学年交流の推進 特別支援教育の推進 	保 子どもは、進んであいさつをしていますか。	B 81	○朝の放送での呼びかけの他、各クラスで朝のあいさつリレーを習慣化したことで、あいさつする大切さや意識が定着してきた。 ○児童会活動、異学年交流、特別支援学級との交流の推進により、思いやりの心が育ってきている。更に活動を発展させたい。 ○学校行事の内容を精選したことで、集中して取り組み、自己肯定感や協調性を育むことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> あいさつは地域でもよくできている。大人があいさつをする環境をつくり、返事を丁寧に返すことなどで、更にコミュニケーションが広がる。 性別や学年を問わず仲の良い姿から、学校生活が楽しいものであることが伝わってくる。
		児 先生や友だち、地域の人にあいさつをしていますか。	A 95			
		保 子どもは、思いやりの心や親切な態度が育ってきていると思いますか。	A 96			
		児 友だちと協力できていますか。	A 93			
		児 そうじの時間にいっしょうけんめいそうじをしていますか。	A 97			
		保 学校行事は適正に実施されていますか。	A 95			
○たくましい子	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なスポーツ活動の実践 「かこがわウェルネス手帳」、県の動画サイトの活用 食育、保健指導の推進 	保 学校は、子どもの健康や安全について配慮していますか。	A 97	○なわとび検定を通年実施し、個々に目標をもって取り組み、体力の向上を図った。 ○新型コロナウイルス感染症他、感染症対策を十分行い、安全で清潔な環境づくりができた。 ○けがや病気の予防について、日々声掛けを行い、健康な体作りを推進していく。	A	<ul style="list-style-type: none"> なわとびを継続的に実施するにあたって、達成感を味わえる仕組みを作ったことが児童への動機づけにつながった。 学校の田畑や校地を活用した学習が充実しており、食育や道徳性の涵養につながっている。
		児 毎日、朝ごはんを食べていますか。	A 97			
		保 子どもは、何事もあきらめず最後までがんばっていますか。	A 85			
		児 最後まで粘り強くあきらめず、がんばれていますか。	A 89			
○安心・安全で地域ととも	<ul style="list-style-type: none"> 段階的な防災訓練、防犯訓練の実施 「平岡小学校学校運営協議会」の充実 学校園連携ユニットの推進 学校だより、学年だよりの発行とホームページの適時更新による情報発信 「39メール」の活用 「学校支援ボランティア」の活用による地域連携推進 	保 子どもは、きまりを守って生活できていますか。	A 85	○毎月、校内安全点検を実施して修繕箇所を把握し、迅速に対応した。また、学校支援ボランティアとのスムーズな連携により、校地環境を常に整えることができた。 ○児童と保護者で「わが家のネットルール」を作り、親子で情報モラルについて考える機会を設けるなど、家庭と連携した取り組みができた。今後も推進していく。 ○全校集会や委員会で呼びかけ規範意識の醸成に取り組んだ。 ○39メールの配信やHPの更新を進め、情報発信に努めた。	A	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭で「わが家のネットルール」を相談して決めているが、実態に即しているのでは守ろうという意識が高いのではないかと。 親子で視聴する情報モラルの動画は、5分～10分程度のものが適切。発達段階(学年)や保護者など対象によって内容を変えた方がニーズに応えられる。
		児 学校のきまりややくそくを守っていますか。	A 95			
		保 学校の環境は整備されていますか。	A 94			
		保 学校は適切に情報を発信していますか。	A 89			
○いのちを大切に	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止対策改善プログラム」の推進によるいじめの未然防止と早期発見・早期対応 道徳教育、人権教育の充実 確かな児童理解に基づいた生徒指導の推進…内面理解、情報の共有、不登校対策の徹底 「アセス」教育相談「こころの健康チェック」を活用した一人一人を大切に学ぶ学級経営の推進 各学年に応じた系統的な学習の実施 交通安全、インターネットトラブル防止、禁煙、防犯、薬物乱用防止の教室 特別支援教育 教育相談各コーディネータ、SC、SSWの積極的活用と関係機関との連携推進 	保 子どもは、学校へ行くのが楽しそうですか。	A 95	○協同的探究学習の定着とともに、話し合い、伝え合い活動が充実したものとなってきた。 ○教育相談が定着してきた。必要に応じて関係機関(SC、SSW等)につなぐなど、問題の早期発見・早期対応に取り組んだ。 ○特別支援・不登校対策推進委員会、生徒指導委員会を毎月実施したことで、児童の情報を共有し「全職員で全児童をみる」意識が浸透してきた。結果として、不登校児童の減少につながったと考えられる。更に、児童が相談しやすい体制づくりを進めていく。	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童は皆で何かをすることに大変楽しさを感じている。学習や学校行事について、今後も児童主体の取組を推進してもらいたい。 自分の思いを言葉で伝えるときに、自分なりに考えて発言している。 前年度よりも、学校に対して、児童も保護者も相談しやすくなってきた。更に相談しやすい環境を整えてほしい。
		児 学校は楽しいですか。	A 93			
		児 自分の思いを言葉で伝えることができましたか。	A 86			
		保 学校は、子どものことで相談しやすいですか。	A 88			
		児 こまったときに、先生に相談しますか。	B 82			